

トマス・ハーディ

10 収穫祭の宴<sup>うたげ</sup>

(1850 年ころ)

ネルとほかの娘たちは 納屋の中で  
スコッチ・グレイ  
竜騎兵たちと とても上手に踊った  
兵隊たちは 収穫祭の宴<sup>うたげ</sup>に招かれていた  
小麦に映える 赤い軍服

ネルとほかの娘たちは 納屋の隅のベンチに 5  
並んで座った  
先ずネルが 昔の民謡<sup>バラッド</sup>をうたった  
聞いて覚えた歌だった

裏切り者サー・ジョン  
魔法をかけて勝った恋人 10  
オウムと輝く鳥籠の民謡<sup>バラッド</sup>をうたった  
ほかの娘たちも歌に加わった

そのとき兵隊が なれなれしくネルに囁いた  
「君 あの民謡<sup>バラッド</sup>をもう一度うたってくれないか  
かわいい口で こんなに上手にうたう人は 15  
どこにもいないよ」

ネルがもう一度 口を開こうとしたとき  
暗闇の中にいたネルの恋人が  
暗い納屋のドア越しに ため息をついた  
ひと月前に埋葬されたのに 20

「ああ ネルよ 僕は土の中にいるのに  
よくも民謡<sup>うた</sup>などうたえるものだ  
昔の恋人たちの裏切りの民謡<sup>うた</sup>を  
あの日 僕に誓ったことを忘れたのか

- 「厚かましい兵隊どもと よくも踊れるものだ  
ダンスのあとは 君の細い腰を抱き  
口づけをするというのに  
昔の愛の誓いなどなかったように」 25
- ネルは叫んだ 「私の心に何か突き刺さったわ  
壁の外に何かいて 30  
草の生い茂る塚の方へ 私を手招きするの  
もうこれ以上 うたえないわ
- 「昔の恋人が あの頃の姿のまま  
蛆虫の中から 蘇<sup>よみがえ</sup>ってきたの  
だからもう 放蕩なだて男たちの腕に 35  
抱かれる訳にはゆかないわ」
- 楽しい宴<sup>うたげ</sup>から ネルは家へ連れ戻された  
寝ても悪夢にうなされた  
「もう二度と踊ったり うたったりしないわ」  
ネルは嘆いた 「それに結婚もしません」 40

(近藤和子訳)